

2027 年度徳島大学研究クラスター募集要領

徳島大学 研究戦略室

1. 研究クラスターの趣旨

徳島大学では、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを理念としています。また、第4期中期目標期間において、社会の変化や SDGs の課題に対応し、持続可能でインクルーシブな社会、多様性にあふれる社会の実現に向けて本学の強みを活かし、教育・研究を充実・強化するとともに、先端医療の推進や産学官連携を通じて地域創生をリードすることを基本方針として掲げています。

これらの理念や基本方針の実現に向けた研究を推進するためには、学部や研究分野を超えた横断的研究を行うなど、大学として新たなイノベーション創出ができる環境を作る必要があります。そこで、第3期中期目標期間に引き続き、分野を超えた複数の研究者からなる研究集団(研究クラスター)を組織し、研究費を効果的に配分するとともに、本学の理念実現に貢献できる研究を選定・支援する体制を構築しました。

本制度により、更なる発展が見込まれる研究や社会実装につながる研究を、重点的かつ戦略的に支援することで、効果的で社会的なインパクトの創出を目指しています。

2. 研究クラスターの位置付け・意義

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ(令和5年2月改定)では、地域の中核大学に対して、大学の強みを活かした研究力強化や人材育成、産学官連携活動等を通じて、地域や社会の課題解決に貢献することが求められています。

徳島大学では、本学の研究力強化と新たな研究領域の創出を推進するため、研究クラスター制度を活用し、分野を超えた研究者による連携や異分野融合研究を支援してきました。研究クラスター制度は、新たな研究シーズの創出や研究領域の発展を促進し、本学の特色ある研究分野の育成や研究拠点形成を推進する基盤的な仕組みです。また、本制度を通じて形成された研究基盤や研究者ネットワークは、本学の研究活動の発展を支える重要な役割を果たしてきました。

本制度では、本学の強みとなる研究分野について、PM(※1)を配置したミッション実現クラスター(※2)を設置するとともに、研究力強化や研究拠点形成を推進してきました。また、ミッション実現クラスターの発展や新たな重点研究領域の創成につながる萌芽的・独創的な研究課題をインキュベーションクラスターとして支援してきました。

こうした取組は、第4期中期目標・中期計画に掲げる研究力強化、研究拠点形成及び若手研究者育成等の推進にも資するものであり、本学の強みである光工学、慢性炎症研究、栄養学等を中心とした研究の発展や異分野融合研究の推進に貢献してきました。

※1 PM(プログラスマネージャー): 重点研究領域の推進に当たり、研究戦略の企画・調整を担う責任者

※2 ミッション実現クラスター : 本学の強みとなる重点研究領域について、研究力強化や研究拠点形成を推進するために設置した研究クラスター

3. 募集研究課題

本学の理念実現に貢献できる下記の研究課題を「インキュベーションクラスター（一般枠、若手支援枠※3、シーズ創出枠）」として募集します。

(1) 重点研究課題（一般枠、若手支援枠）

フォトンクス健康フロンティア研究院 (IPHF) の4つのイニシアティブ (光工学、慢性炎症研究、栄養学、情報科学) に関連する研究であって、異分野融合による研究の発展や新たな研究領域の創出を推進する研究課題

(2) 萌芽的研究課題（シーズ創出枠）

IPHF の4つのイニシアティブに限定されない分野において、本学の強みとなる新たな研究領域の創成を目指し、原則、将来的な政府の成長戦略 17 分野(※4)への展開も見据えた異分野融合による研究の発展や研究シーズの創出を推進する研究課題

※3 2027 年 3 月 31 日時点で、博士号取得後 10 年以内または 40 歳未満の者

※4 内閣官房 日本成長戦略会議「戦略 17 分野における主要な製品・技術等(資料)」

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/nipponseichosenryaku/kaigi/dai5/shiryou2.pdf>

4. クラスター登録期間

登録期間は、2027 年4月1日から 2030 年3月 31 日までとし、登録されたクラスターの中からインキュベーションクラスターを選定します。

5. 支援研究費

- ①インキュベーションクラスター（一般枠） : 1課題あたり、最大 12,000 千円／3 年
- ②インキュベーションクラスター（若手支援枠） : 1課題あたり、最大 4,500 千円／3 年
- ③インキュベーションクラスター（シーズ創出枠） : 1 課題あたり、最大 2,000 千円／1 年限り

注1 支援研究費は、研究戦略室での審査により決定します。

注2 決定された金額を基に一般枠、若手支援枠については3年間、シーズ創出枠については1年間の予算計画を立てていただきます。

注3 支援研究費の配分は5月中旬頃を予定しています。

注4 一般枠、若手支援枠については、年度途中の配分額の増減や、翌年度への経費の繰り越しは認めません。

6. 支援予定件数

- ①インキュベーションクラスター（一般枠） : 新規5件程度
- ②インキュベーションクラスター（若手支援枠） : 新規5件程度
- ③インキュベーションクラスター（シーズ創出枠） : 新規5件程度

【参考】2025年度採択件数

インキュベーションクラスター（一般枠）：8件を採択（応募28件中）

インキュベーションクラスター（若手支援枠）：5件を採択（応募8件中）

7. 応募資格

本学の常勤研究者であり、本学に所属する異なる組織（研究部、学域、部門、系または分野等）の研究者※5による連携を含む研究クラスターの代表者（研究クラスター長）であること。

若手支援枠については、2027年3月31日時点で、研究クラスター長が博士号取得後10年以内または40歳未満であることを条件とします。

※5 本要件においては、同一の学域、部門または系に所属している場合であっても、異なる分野に所属する研究者との連携は対象とします。なお、研究クラスターは学内の異分野研究者による連携を必須とし、同一分野の研究者のみで構成される研究クラスターや学外研究者とのみ連携する研究クラスターは対象としません。

8. 留意事項

- (1) 女性研究者が研究クラスター長である研究クラスター及び若手研究者のみで構成される研究クラスターからの応募を奨励します。
- (2) 連携研究者として、他研究機関、企業等からの参画を奨励します。
- (3) 博士課程・博士後期課程学生を積極的に参画させることを奨励します。
注5 「徳島大学 学際的次世代研究者育成プログラム（SPRING）」に採択された博士課程・博士後期課程学生（うずしおスカラー）は、いずれかの研究クラスターに参画することを必須としています。
- (4) 研究クラスター長として登録できる研究クラスターは1件までとします。ただし、研究分担者として他の研究クラスターに参画することは可能です。
また、研究クラスター長として登録期間中の研究クラスターがある場合は、新たな研究クラスターの申請に先立ち、当該研究クラスターの終了手続きを行ってください。
- (5) 研究クラスター長として申請できるのは、一般枠、若手支援枠もしくはシーズ創出枠のいずれか1件のみとします。
- (6) 参加するすべての研究者は、申請時まで「研究活動上の不正行為に関する研究倫理教育の実施について」に定められた研究倫理教育の受講を完了してください。

【参考】研究活動上の不正行為に関する研究倫理教育の実施について（学内教職員向けサイト）

<https://gakunai.sangaku.tokushima-u.ac.jp/suishin/fusei/torikumi>

- (7) 登録された研究クラスターについては、原則として、徳島大学研究クラスターホームページにおいて、「研究領域」「研究課題」「研究クラスター長の氏名」「所属する研究者氏名」「研究概要」「研究者の役割分担」「研究期間」を公表します。

【参考】徳島大学研究クラスターホームページ

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/>

- (8) 「研究概要図」の作成に当たっては、著作権その他の権利を侵害しないよう十分留意してください。第三者が作成した図表、画像、写真等を使用する場合は、必要な許諾の取得や出典の明示など、利用条件に従って適切に対応してください。

9. 登録（申請）方法

徳島大学研究クラスターホームページより、登録（申請）を行ってください。

登録手順は、別添の「研究クラスターホームページへの登録手順」をご参照ください。

- (1) アカウントをお持ちでない方は、始めに徳島大学研究クラスターホームページよりアカウント登録を行ってください。（既にアカウントをお持ちの方は次に進んでください。）

- (2) マイページにログイン後、研究課題名、研究クラスター長名等、研究クラスター登録内容を入力してください。

また、研究概要を示す概念図（画像・PDF）をアップロードしてください。

なお、研究概要図の作成に当たっては、8. 留意事項(8)を確認してください。

- (3) 入力後、「公開申請」を行ってください。公開申請を行った段階で登録作業は終了となります。

なお、「公開申請」を行った研究課題は登録クラスターとして登録され、登録クラスターの中からインキュベーションクラスターを選定します。

注6 公開申請後は研究企画係から受領確認のメールをお送りします。公開申請後2～3営業日程度（土日祝日を除く）を経過しても連絡がない場合は、研究企画係までお問い合わせください。

10. 登録（申請）期限

2026年10月30日（金）（必着）

11. 選考方法

上記期限までに登録された研究クラスターのうちから、研究戦略室にて次に定める評価の観点に基づく評価を行い、インキュベーションクラスターを選定します。選定されたインキュベーションクラスターには、研究戦略室より、支援研究費を配分します。

12. 評価の観点

下記の「評価の観点」で審査いたします。なお、萌芽的研究課題（シーズ創出枠）については、新たな研究シーズの創出や研究領域の開拓を目的とすることから、(1)を重視するとともに、(2)については将来的な展開可能性を含めて評価します。

【評価の観点】

(1) 研究の方向性と研究遂行能力

- (ア) 社会課題解決のため新たな知見の発見や、本学内の異分野研究者による連携、新たな研究領域の開拓等を目指す、挑戦性・先進性あるいは萌芽性・独創性の高い取組みであること。
- (イ) 着想に至った経緯や関連する国内外の研究動向と本研究の位置付けが明確であること。
- (ウ) 競合研究(技術)と比較した際の新規性及び優位性が明確であること。
- (エ) 研究実施に必要な人員・組織体制が整っていること。
- (オ) 研究クラスター長が優れた研究遂行能力を有していること。

(2) 研究クラスターの趣旨に沿った、大学間連携、産官学連携、国際連携、若手育成、研究拠点形成を図る課題

- (ア) 大学間連携、産官学連携、国際連携、若手育成、研究拠点形成を図る明確な取組み、または将来的にこれらへ発展することが期待される取組みであること。

(3) 基礎的研究も含め、研究成果を明瞭に示すことができる課題

- (ア) 研究の目標・計画が具体的に設定され、どこまで明らかにするか明確に示されていること。
- (イ) 過去の研究成果を活用した取組みについては、本研究での取組みにより先駆的かつ実用的なものとなることが期待できること。

(4) その他

- (ア) 支援期間終了後においても、発展的・持続的な展開と将来の大型外部資金の獲得または新たな研究領域・研究シーズの創出につながることを期待できるものを優先的に評価
- (イ) 女性研究者が研究クラスター長である課題を優先的に評価
- (ウ) うずしおスカラーが参画する研究クラスターを優先的に評価

1 3. 支援決定後の義務

- (1) 学会発表や論文発表において、研究クラスター事業の支援を受けた旨を表記してください。

【記載例】

(和文) 本研究は徳島大学研究クラスター事業の支援を受けたものである。

(英文) This work was supported by the Research Clusters program of Tokushima University.



徳島大学研究クラスターロゴマーク

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/news/952.html>

※学内研究者や学外組織を巻き込んで成長していく徳島大学研究クラスターのエネルギーを、「渦」をモチーフに表現。渦を構成するさまざまな色のパーツは、多様な研究分野を示しています。

- (2) 研究クラスターの成果として発表された論文については、必ず「徳島大学オープンアクセスに関する方針」(2016年1月学長裁定)に従い、徳島大学機関リポジトリを利用して公開するようお願いいたします。また、「徳島大学研究データポリシー」(2024年3月役員会制定)を遵守するようお願いいたします。
- (3) プレスリリース、受賞、研究クラスター経費による研究会等開催の際には、研究・産学企画課

(kskenkik@tokushima-u.ac.jp) への報告をお願いします。(別途、写真の提供、記事の作成等を依頼する場合があります。)

- (4) 進捗状況報告書の提出をお願いします。(毎年2月を予定)
- (5) 提出した進捗状況報告書に基づき、研究戦略室によるヒアリングが実施されることがあります。
- (6) アウトリーチ活動として、研究クラスターホームページやパンフレットの作成を行っておりますのでご協力の程よろしくをお願いします。

14. スケジュール

申請期限:2026年10月30日(金) 厳守

審査期間:2026年11月中旬～12月中旬(予定)

結果通知:2027年2月上旬頃(予定)

支援開始:2027年4月1日(※支援研究費の配分は5月中旬頃を予定)

本募集に関し不明な点や質問等がある場合は、以下までご連絡ください。

【お問合せ先】

研究・産学連携部

研究・産学企画課 研究企画係

Email: kskenkik@tokushima-u.ac.jp

研究クラスターについて

徳島大学の研究の強みの明確化を目指しスタートした研究クラスター制度は、研究シーズの発掘・育成を通じた外部資金等の獲得の支援のみならず、これら成果を活用することで新たに獲得した多様な財源による研究環境の維持・向上を目標としています。また、研究クラスターで推進する研究領域及び研究者個人が、更に発展できるよう以下のような機会の創出や支援を、研究戦略室として組織的に実施しています。

○事業申請等を通じた大学からの重点支援

国や企業が募集する大型競争的研究資金・事業費の獲得に向けて、研究戦略室では研究クラスターのテーマをもとに提案を企画し、申請しています(成果は下記を参照)。さらに、採択された場合、より優れた成果を出し続け、また、得られた成果が活用できるよう研究環境の整備(機器の整備、共同利用、研究支援人材からの支援等)、ベンチャー育成支援を行っています。

○研究クラスター間の連携拡大

申請時の研究クラスターの枠組みにとらわれず、他の研究クラスターとのマッチング、勉強会等を通じて、さまざまな形で学内研究者との共同研究の機会が得られるよう支援しています。また、ミッション実現クラスターとの融合により、更なる成果が期待できる研究課題には、研究費を含めた若手研究者支援、研究環境整備に係る支援等も講じています。

○広報・アウトリーチ

全研究クラスターを紹介したパンフレットを発刊し、全国の大学・研究機関や企業に対して配布する形で本学の研究活動の広報を行っています。

研究クラスターの成果について

研究クラスターへの支援が次のような成果に繋がっています。

○研究拠点の形成

- ・文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」

研究クラスターの研究テーマである「光工学研究」、「慢性炎症研究」、「栄養学研究」に加え「情報科学研究」の4つのイニシアティブを結集し、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みを核として教育・研究活動を発展させ、大学間の連携を通じて「研究大学群」としての機能強化を図る本事業に申請し、採択(R6年度)

- ・内閣府「地方大学・地域産業創生交付金「展開枠」事業

研究クラスターの研究テーマである「次世代光研究」を研究重点分野として位置付け、徳島県とともに共通のビジョンの下世界レベルの成果創出や地域産業への展開を目指す本事業に申請し、採択(R5年度)

- ・JST「共創の場形成支援プログラム(政策重点分野／バイオ分野・本格型)」

研究クラスターの研究テーマである「慢性炎症研究」、「がん研究」の強みを生かして、国立循環器病研究センターが代表をつとめ、難治性心血管疾患・難治性がん・認知症・新興再興ウイルス感染症を克服できるレジリエントな社会の実現を目指す本プログラムに、参画(R2年度)

○大学発ベンチャーの創出

これまで支援した研究クラスターから、下記をはじめとする大学発ベンチャーが生まれ、現在も活動を続けています。

- ・株式会社 Smart Laser & Plasma Systems（平成30年）
- ・株式会社 amidex（令和5年）
- ・株式会社 TSUNAGI(令和7年)

○若手研究者の育成

- ・ミッション実現クラスターでは、若手研究者や大学院生への研究費支援や外国人留学生の戦略的獲得に向けた支援を行っており、その成果として、若手研究者の競争的資金の獲得やポストの獲得、昇任につながっています。

※獲得につながった主な外部資金

JST「創発的研究支援事業」

AMED「革新的先端研究開発支援事業(PRIME)」

AMED「革新的がん医療実用化研究事業」

JSPS「学術変革領域研究(A)」 など

○本学の重点的事業の採択に貢献

- ・文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」(R2年度)
- ・JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING) 事業」(R3年度)

博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援する本プログラムの申請において、「研究クラスターを核とした学際的イノベーション人材の育成」を計画の骨子としました。

- ・文部科学省「国立大学経営改革促進事業」(R4年度)

国立大学の経営改革の実装を実現・加速し、社会的インパクトの創出に先導的に取り組む大学を支援する本事業の申請において、研究クラスター制度を活用した研究組織の再編や更なる外部資金の獲得額増加等を実績としてアピールしました。

- ・内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」(R4年度)

地域の中核となる大学が、社会ニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、同活動を通じた投資誘発により財源多様化を促進する本事業の申請において、研究クラスター制度による支援が外部資金獲得につながっていること等を実績としてアピールしました。

- ・JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING) 事業」(R5年度)

大学院博士課程学生を対象とした当プログラムでも、研究クラスター制度を活用し、挑戦的・融合的な研究に専念できる研究環境を学生に提供しました。

- ・文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」(R6年度)

地域の中核大学や特定分野に強みを有する大学が、その強みを核として研究力強化や研究拠点形成を推進するとともに、大学間連携を通じて「研究大学群」としての機能強化を図る本事業において、研究クラスター制度を通じて培われた研究基盤や研究成果が、本事業の採択につながる強みの形成に貢献しました。